

14 石川北部RDFセンター



環境汚染の発生しない適切な処理施設の整備を目的とし、石川県と石川県北部地域の24市町村が一体となって、今後の広域廃棄物処理のモデルとなる「RDF計画」を推進するための施設として建設した。RDF専焼炉では、RDFの焼却時に発生する熱エネルギーの利用、スラグの道路路盤等への活用や廃棄物のリサイクルを行い、資源環型社会の実現や環境保全に寄与する。





展示スペース



運転訓練シュミレータースペース

ボリューム感抑える：高層の工場棟を低い敷地に配置し、低層の管理棟・スラグ貯蔵棟を高い敷地に配置
 周辺環境に配慮：屋根を淡いグリーン色の曲面形状で各棟を統一

：床タイル、カーテン

：Refuse Derived Fuel（廃棄物からできた燃料）の略称。石川北部RDFセンターで焼却するRDFは、直径1～3cm、長さ5cm程度に作られ、カロリーは1kgあたり3000～4700kcalある。

DATA

羽咋郡志賀町矢駄地内
平成13年12月～平成14年11月
3,158㎡
スラグ貯蔵棟
S造：1F
1,245㎡
管理棟
RC造：2F
1,912㎡